

# 伊豆中央ロータリークラブ

## ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

### 週報 第2548回例会

2018.09.25(火) 於 サンバレー富士見

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 小野住環境ビル 2F  
TEL (055)976-6351 FAX (055)976-6352  
例会場 ホテルサンバレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈 185-1  
TEL (055)947-3100 FAX (055)947-0564

URL [www.izuchuo-rc.org](http://www.izuchuo-rc.org)

写真：弓ヶ浜（伊豆半島ジオパーク）

2018-19

RI 会長 バリー・ラシン ガナー 星野 喜忠  
会長 古藤田博澄 幹事 水谷 隆一  
会報委員会 土田 哲・長友範充

SAA 中山 博司・原田 精治 S.L. 森田修史

斉唱 奉仕の理想

### 会長挨拶

会長 古藤田博澄



16日の日曜日、修善寺駅前大掃除に参加してきました。ゴミを拾いながら一緒にチームとなった生徒達と生徒会の活動のことや、伊豆総ミュージアムのことなど話をしながらの一時間。

駅周辺を歩いてわかったことで

すが、伊豆総合高校製作による花壇が数か所に設置されていました。そのことはいいのですが、残念なことにその花壇にゴミやたばこの吸い殻が捨てられている。それを拾う高校生。ゴミはゴミを呼びます。1つのゴミを拾わないと同じところにごみは捨てられ、いずれはゴミの山になる。だからこそ、地道に辛抱強くゴミは拾わなければならない。

ゴミ拾いの後、チームごとの反省会で、ごみを捨てる人のモラル、タバコを吸う人のマナーの悪さを指摘する声が出ました。「ごみを捨てる側の人間などほっとけばいい。いわばゴミのような者だ。ごみを拾う側の人間になった生徒達は、この先大人なってもゴミを捨てることはしないだろう。」などと思いながら有意義な時間となりました。この後、生徒達は、伊豆総ミュージアムに行くという事でしたので、我々も同道しました。高校の中でミュージアムのことを知らない人が多いということでの見学です。伊豆総ミュージアムのこれからの活動に期待をし、また伊豆中央としてもできる協力はしていきたいと思えます。

さて、本日は『伊豆総合高校の深澤校長先生をお招きしての卓話です。』よろしくお願ひいたします。

### ゲスト・ビジター

副会長 小島昭男

・ 県立伊豆総合高校 校長 深澤富士夫氏

### 慶事発表



・ 会員誕生日： 9月29日 石井政一  
9月30日 飯田晃司

### 出席報告


小林貞博

	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	22/23名	95.65%	23/23名	100%
今回	16/22名	72.73%	会員総数	23名

・ 今回の欠席者： 土田 哲・飯田 健吾・紀平 幸一  
小野 信・土屋 雄三・水谷 隆一  
・ 前々回のMU者： 石井 政一（9/15 米山秋季例祭）

### スマイル報告

親睦友好委員会 原田精治

	本日のスマイル	19,000円
	スマイルの累計	****円

・ 古藤田・小島・木内  
深澤校長先生、ようこそいらっしゃいました。  
卓話よろしくお願ひします。  
・ 竹村  
先日は父の葬儀に際し、皆様方のご会葬誠にありがとうございました。

## 「伊豆総合高校の地域連携について」

伊豆総合高校 校長 深澤 富士夫



本日は、このような席にお招きいただきまして、ありがとうございます。また、日頃から本校のインターアクトクラブに対しまして、御支援と御協力をいただきましてこの場をお借りし感謝申し上げます。西日本豪雨、北海道地震の被害に合われた皆様にお見舞いを申し上げるとともに1日も早く復旧されることを願ってやみません。

本校のトピックスを3点紹介させていただきます。1点目は、全国大会で上位入賞した部活動です。郷土芸能部は全国3位、自転車競技部の女子選手はロード種目で6位に入賞することができました。今年の自転車競技は、日本競輪学校と日本サイクルスポーツセンターが会場でしたので、本校の生徒達は、大会期間中の競技補助員として、延べ110人が立派に責任を果たしてくれました。2点目は、本校は『東京2020教育プログラムのオリンピック・パラリンピック教育実施校』の指定を受けました。パラリンピックに出場した藤田征樹選手を講師に迎え講演をしていただきました。両足義足の選手ですが、自転車競技に挑んでいる気持ちを聞かせていただく中で、『失ったものを数えるな、残されたものを、最大限に生かせ』という言葉が生徒達の心に響いています。3点目は、伊豆中央ロータリークラブ様に多大なる御支援をいただきました『伊豆総ミュージアム』です。入口の看板などの文字には、生徒の作品を使用いただき、文字を書いた生徒も感激していました。今後、インターアクトクラブを中心に、学校の授業では体験・経験できない「学びの場」となるとともに、地域の方々との交流の場となるように、大切に使用させていただきたいと考えております。

(本校の校訓、教育方針、地域との交流活動等については、紙面の関係上、割愛させていただきます。)

7月22日の修善寺大掃除の後、生徒会が自主的に企画し、西日本豪雨の募金活動を修善寺駅前で開催してくれました。私は生徒に、「どうして自主的に募金をしようと思ったの?」と聞くと、「昨年、ポリオ撲滅募金の経験をして、今年も困っている人の為に何かできないかと思いました」と答えてくれました。これは、まさしく、ロータリークラブ様の「青少年健全育成」の取組みが、生徒達の心に残り、生徒達の自主的な行動に繋がった素晴らしい成果であると感じました。

最後に、本校の地域連携や奉仕活動は、修善寺大掃除、文化祭の地域連携、募金活動など非常に活発に取り組んでいると感じています。中でも、大型フォトフレーム、サイクルボード、手作りベンチなどは、その作品にこめた思いや製作時間に比例して、生徒達の自己肯定感の高まりは大きいと思います。これからも、地域との連携を大切にして、生徒達の成長に繋がっていきたいと考えています。今後とも御支援と御協力をお願い申し上げます。

